

県内経済とくらしむき

長崎県県民生活環境部統計課

〔1〕おもな動き

【推計人口】 ……	12月
令和2年12月1日の推計人口	1,309,143人
世帯数	560,625世帯

参考：H27.10.1現在国勢調査総人口：1,377,187人、
世帯数：560,720世帯

1 推計人口

令和2年12月1日現在の推計人口は、1,309,143人で、前月(1,309,816)に比べ673人の減少となった。

市部では、大村市(55)、雲仙市(22)の2市で増加し、長崎市(△248)、佐世保市(△164)、諫早市(△82)、南島原市(△59)、島原市(△51)、対馬市(△45)、平戸市(△40)、松浦市(△35)、壱岐市(△24)、西海市(△14)、五島市(△12)の11市で減少した。

郡部では、佐々町(30)、長与町(25)、波佐見町(3)、川棚町(1)の4町で増加し、新上五島町(△21)、東彼杵町(△10)、時津町(△2)、小値賀町(△2)の4町で減少した。

自然動態は、出生数757人、死亡数1,453人で696人の減少、社会動態は、転入者数2,236人(県内転入を含む)、転出者2,213人(県内転出を含む)で、23人の増加となった。

2 世帯数

令和2年12月1日現在の世帯数は、560,625世帯で前月(560,751)に比べ126世帯の減少となった。

(注)

異動人口推計＝H27国勢調査確定数＋住民基本台帳
(転入、転出、出生、死亡)

【賃金・労働時間・雇用(30人以上)】…10月

1人当たり現金給与総額	259,742円
対前月比	1.1%増加
対前年同月比	2.4%増加

1 賃金

10月の常用労働者1人当たりの賃金をみると、現金給与総額は259,742円で、前月に比べ1.1%増加し、前年同月に比べ2.4%増加した。

現金給与総額を定期給与(きまって支給する給与)と特別給与(特別に支払われた給与)に分けると、定期給与は258,907円で、前月に比べ1.1%増加し、前年同月に比べ3.6%増加した。

特別給与額は835円で、前年同月に比べ、2,792円減少した。

2 労働時間

10月の常用労働者1人当たりの労働時間をみると、総実労働時間は155.6時間で、前月に比べ6.2%増加し、前年同月に比べ3.0%増加した。

総実労働時間を所定内と所定外に分けると、所定内労働時間は144.3時間で前月に比べ5.9%増加し、前年同月に比べ2.9%増加した。

所定外労働時間数は11.3時間で、前月に比べ9.7%増加し、前年同月に比べ4.6%増加した。

3 雇用

10月の常用労働者数は210,056人で、前月に比べ0.8%増加し、前年同月に比べ7.3%減少した。

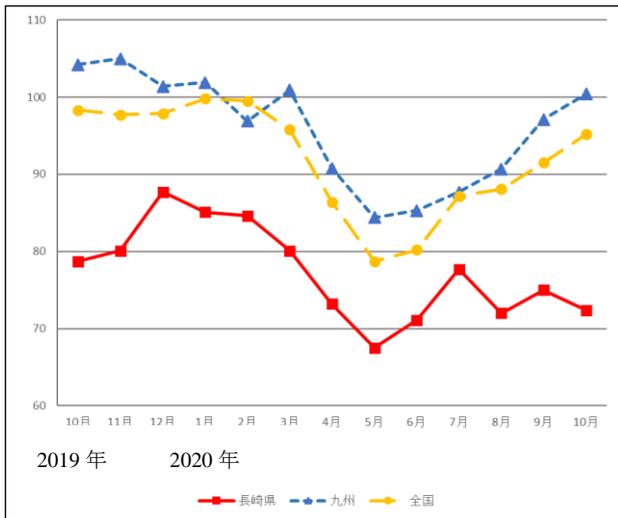
【鉱工業生産指数】……………10月

令和2年10月の鉱工業生産指数

(平成27年=100)

区分	季節調整済指数	前月比 (%)	原指数	前年同月比 (%)
長崎県	72.4	△3.5	77.0	△5.6
九州	100.4	3.2	104.6	△3.4
全国	95.2	4.0	97.4	△3.0

鉱工業生産指数の推移【季節調整済指数】



令和2年10月の鉱工業生産指数は、季節調整済指数が72.4で対前月比は3.5%の減、原指数は77.0で対前年同月比は5.6%の減となった。

業種別にみると、食料品工業、窯業・土石製品工業など6業種が上昇し、電気機械工業、繊維工業、電子部品・デバイス工業など7業種が低下した。

○主な上昇業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	上昇に寄与した主な品目
食料品工業	7.4	△9.3	その他の調味料
窯業・土石製品工業	1.8	△2.0	生コンクリート

○主な低下業種

業種	前月比 (%)	前年同月比 (%)	低下に寄与した主な品目
電気機械工業	△34.7	△35.0	交流発電機
繊維工業	△15.5	△45.9	漁網・陸上綱
電子部品・デバイス工業	△8.5	5.7	半導体集積回路

(注) 前月比は季節調整済指数の対前月増減率、前年同月比は原指数の対前年同月増減率のことである。

【長崎市消費者物価指数】……………11月

総合指数(H27=100)	103.5
対前月比 (%)	△0.3
対前年同月比 (%)	△0.5

令和2年11月の長崎市の消費者物価総合指数は、平成27年を100として、103.5である。

前月比△0.3%の下落で、主な上昇要因は「教養娯楽」の+0.3%、「保健医療」の+0.1%であり、主な下落要因は「食料」の△0.9%、「光熱・水道」の△0.7%である。

前年同月比は、令和2年7月は+0.4%、8月は+0.2%、9月は+0.7%、10月は△0.2%と推移した後、11月は△0.5%の下落であった。

また、生鮮食品を除く総合指数は103.3であり、前月比は△0.1%であり、前年同月比は△0.7%であった。

(前月との比較)

△上昇した費目

教養娯楽	0.3%
保健医療	0.1%
諸雑費	0.1%

▽同水準の費目

住居	±0.0%
交通・通信	±0.0%
教育	±0.0%

▽下落した費目

家具・家事用品	△0.4%
被服及び履物	△0.6%
光熱・水道	△0.7%
食料	△0.9%

【家計(長崎市・勤労者世帯)】……………11月

消費支出(一世帯当たり)	255,357円
前月比	7,194円増(2.9%増)

令和2年11月の長崎市・勤労者世帯(農林漁家世帯を含む)の消費支出は255,357円で、前月比2.9%の増、前年同月比は21.3%の減であった。

平均消費性向(可処分所得に占める消費支出の割合)は80.1%であった。

(注)「長崎市の勤労者世帯の家計の平均」と考えず、参考値として利用ください。